

# クボタシーアイ株式会社 小田原工場

## 1 工場概要

- ▶ 住所 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7 - 6 - 1
- ▶ 従業員数 160名 (平成21年4月1日現在:派遣社員8名含む)
- ▶ 敷地面積 61,292m<sup>2</sup>

## 2 事業概要

### ▶ 主要製品

#### パイプ

##### 塩ビパイプ

一般、HI、SGR-NA、SRA、SRB、  
耐熱、電線、三層、二管路、  
農水圧力、下水、カラー



SGR継手・ゲートバルブ



カラーパイプ、継手

#### 継手

##### 塩ビ継手

TS、HI、DV、VUDV、耐熱、  
リブ、透明、カラー、SGR  
ハイゲートバルブ



HI継手



耐熱継手

## 3 工場変遷

- |              |  |
|--------------|--|
| 昭和42年 (1967) | ビニルパイプ工場完成<br>電電公社向け保護用塩ビパイプ生産開始                 |
| 昭和53年 (1978) | SGR-NAパイプ生産開始                                    |
| 昭和56年 (1981) | ポリブデンパイプ生産開始<br>松田出荷センター完成                       |
| 昭和58年 (1983) | ガス用ポリエチレン管の生産開始                                  |
| 平成11年 (1999) | SGR-NAVH管の生産開始                                   |
| 平成13年 (2001) | リサイクル三層発泡管の生産開始                                  |
| 平成14年 (2002) | リサイクル三層管(ソリッド三層管)の生産開始<br>小田原西配送センター完成           |
| 平成17年 (2005) | クボタシーアイ(株)設立                                     |
| 平成18年 (2006) | 生産供給体制の一層の最適化を目指し、ポリブデン管<br>ガス用ポリエチレン管の生産拠点変更を実施 |
| 平成21年 (2009) | 生産拠点再編により、耐熱パイプ・継手、TS・HI継手、<br>ハイゲートバルブの生産開始     |

## 4 環境方針

### ▶ ISO環境方針

クボタシーアイ(株)小田原工場は、原材料受入れから生産、出荷、製品及びサービスに至る活動において「地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行うこと」を基本理念として、環境方針を定めます。

1. 地球環境の保全のため、地球温暖化防止に努めます。
2. 資源再利用、並びに廃棄物の減量に積極的に取り組みます。
3. 環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境負荷の低減、並びに汚染の予防に努めます。
4. 法令を遵守するとともに、地域社会との共生を図る環境保全に努めます。
5. 環境方針を組織で働く又は組織のために働くすべての人に周知するとともに、環境に関する啓発・教育活動を推進し、環境意識の向上を図ります。

平成 20年 6月 1日改定

クボタシーアイ株式会社 小田原工場長

**井上 洋二郎**

### ▶ ISO認証取得状況

平成12年1月19日 (2000)	日本科学技術連盟の登録証受領((株)クボタ名で受領)
平成15年1月19日 (2003)	第1回更新登録証受領((株)クボタ名で受領)
平成18年1月19日 (2006)	第2回更新登録証受領(クボタシーアイ(株)とクボタ松下電工外装(株)の連名で受領)
平成19年1月19日 (2007)	第1回サーベイランス継続合格(クボタシーアイ(株)とクボタ松下電工外装(株)の連名で受領)
平成20年1月19日 (2008)	第2回サーベイランス継続合格(今回よりクボタシーアイ(株)の単独受審)
平成20年8月28日 (2008)	第3回更新登録証受領(クボタシーアイ(株)で受領)
平成21年8月27日 (2009)	第1回サーベイランス継続合格

## 5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2008年度		
				目標	成果	自己評価
地球温暖化防止	3 CO2の削減	1 CO2排出原単位	2007	1%	+25%	×
		CO2排出量	2004	2004年度以下	12%	
	物流のCO2削減	CO2排出原単位	2007	1%	供給管理部担当	-
循環型社会の形成	廃棄物の削減	1 排出原単位	2007	2%	+12%	×
		排出量	2007	2%	4.2%	
	ゼロ・エミッション	埋立比率	-	0.9%	0.0%	
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	1 排出移動原単位	2007	2%	+303%	×
		2 排出移動量	2007	2%	+244%	×

1 生産量(金額)の落ち込み(14.6%)により原単位目標値の大幅未達となりました。

2 有価物がサーマルリサイクルに回った為、排出移動量が増加しました。

3 東京電力のCO2排出係数の増加(0.339 → 0.425)による影響です。

自己評価の基準 : 目標超過達成 : 目標達成 × : 目標未達成 - : 該当なし

## 環境 TOPICS

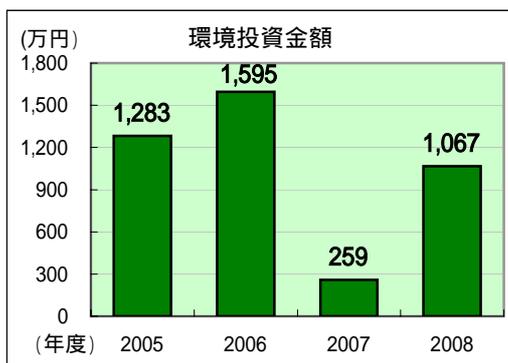
- 1) 2008年8月28日にISO14001: 2004での小田原工場環境マネジメントシステム第3回更新登録証を受領しました。
- 2) ターボコンプレッサー(350kW×1台)から高効率スクリーコンプレッサー(125kW×2台)に転換しました。
- 3) 成形機油漏れ拡大防止用防油溝を設置しました。
- 4) クボタグループ環境監査を受審しています。
- 5) 東京電力の夏季電力調整に積極的に協力しました。

## 6 環境会計

### 環境投資

2008年度:1,067万円

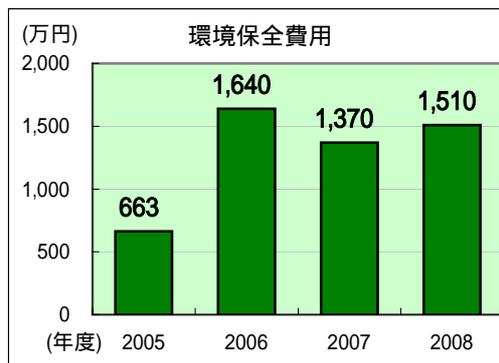
ターボコンプレッサー(350kW×1台)から高効率スクリーコンプレッサー(125kW×2台)への転換による省エネ活動を実施しました。



### 環境保全費用

2008年度:1,510万円

成形機の油漏れ対策として、継手工場全体に拡大防止用防油溝の設置を実施しました。



### 環境保全効果

- 1) エネルギー使用量は前年比 20.51%となりました。
- 2) チラー、コンデンサーの洗浄により凝縮機能力を維持しました。
- 3) 天井の屋根(CD系列)を明り取りに変更して、省エネを推進しました。

効果の内容	効果	2007年度	2008年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	279,479	231,911	47,568	20.51
	水使用量(m <sup>3</sup> )	88,482	66,608	21,874	32.84
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO <sub>2</sub> 排出量(t)	9,535	10,200	665	6.52
	SO <sub>x</sub> 排出量(t)	0	0	0	
	NO <sub>x</sub> 排出量(t)	0	0	0	
	ばいじん排出量(t)	0	0	0	
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	0.041	0.141	0.100	0.71
	廃棄物排出量(t)	101	97	4	0.04
	廃棄物埋立量(t)	0	0	0	

### 経済効果

2008年度:789万円

ターボコンプレッサーから高効率スクリーコンプレッサーへの切り替えが電力量の省エネを推進しました。

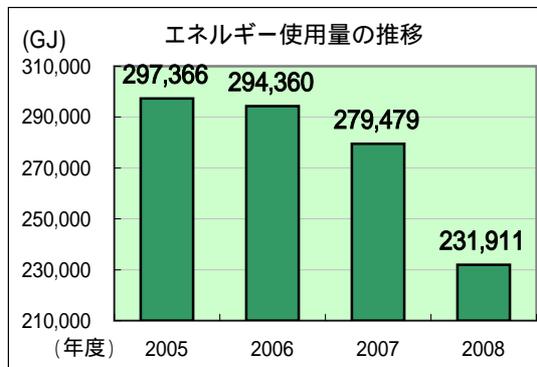
分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	高効率スクリーコンプレッサーの導入	789.0 万円
		万円
合計		789.0 万円

## 7 環境パフォーマンス

### 地球温暖化の防止

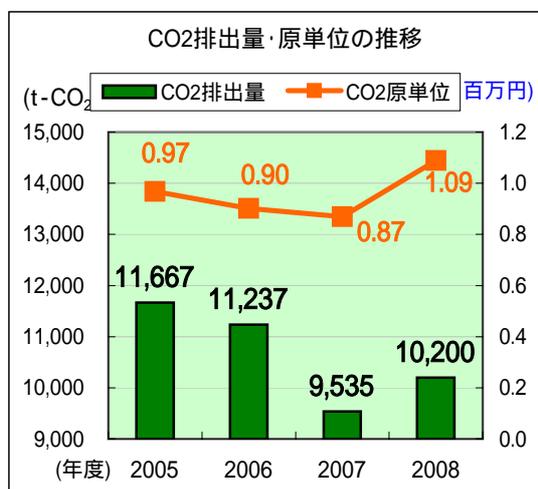
#### 省エネルギー活動

エネルギー使用量(単位:GJ)を削減しました。  
前年度比17.0%削減



#### CO2排出量の削減

- CO2排出原単位(CO2排出量 / 生産金額)は増加しました。  
(生産量(生産金額)の落ち込み(前年度比 14.6%)が原単位を悪くしました。)
- CO2排出量は東京電力(株)の排出係数(2007年度:0.339、2008年度:0.425)の上昇によりCO2排出量が増加しました。  
(エネルギー使用量(GJ)の99%が電気)



### 循環型社会の形成

#### 廃棄物排出量の削減

前年度に比べて4tの削減を行いました。

#### ゼロ・エミッション化

再資源化率が順調に進みました。  
2007年(97.5%)から2008年(97.8%)に順調に推移しています。



注: 2005~2006年度 埋立比率(%) = 埋立量 ÷ 廃棄物排出量  
2007~2008年度 埋立比率(%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

## 有害化学物質の削減

### VOC大気排出量の削減

該当設備なし

### PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
230	鉛及びその化合物	0.6kg	-	-	-	-	140kg
176	有機錫化合物	0.6kg	-	-	-	-	0.5kg

## 8 環境コミュニケーション

### 地域美化活動

名称 小田原市主催の「クリーン酒匂」での酒匂川清掃  
日付 平成21年5月31日

参加人数 16名



クリーン酒匂にて

名称 工場周辺(工場南通路東端からマンションの前まで)の清掃

日付 平成21年6月24日

参加人数 57名



工場南の歩道と道路清掃

### 教育への支援

1) 危険物取り扱い責任者乙-4種資格取得

2名

## 9 サイトデータ

## ▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算(GJ)	
エネルギー	電気	万kWh	23,594	228,466
	ガソリン	k	0.0	0
	都市ガス	千m <sup>3</sup>	61.0	2,488
	灯油	k		
	軽油	k	24.0	903
	重油	k		
	LPG	t	1.0	54
	他			
合計				231,911

水使用量	万m <sup>3</sup>	2.9	上水
		3.8	地下水

## ▶ OUTPUT

CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	10,200
---------------------	-------------------	--------

放流先	項目	単位	C排水口		D排水口	
			規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域	pH	-	5.8~8.6	8.2	5.8~8.6	7.7
	BOD	mg/	60	1.0未満	60	2.2
	COD	mg/	60	1.0未満	60	4.9
	窒素	mg/	120	0.20	120	1.5
	りん	mg/	16	0.08	16	0.06
	六価クロム	mg/	0.5	0.05未満	0.5	0.05未満
	鉛	mg/	0.1	0.01未満	0.1	0.01未満
	COD総量規制値	kg/日	-	-	-	-
	窒素総量規制値	kg/日	-	-	-	-
	りん総量規制値	kg/日	-	-	-	-
下水道	pH	-	-	-	-	-
	BOD	mg/	-	-	-	-
	COD	mg/	-	-	-	-
	SS	mg/	-	-	-	-

C排水口測定値はクボタ松下電工外装(株)測定分

廃棄物排出量	t	97
埋立比率	%	0.014